

自然農法創始者の言葉

- 土や植物にも意思、感情がある。これが割合に重要な点なのです。だから土を愛し、尊んで、そうしてできるだけ穢さないようにするという事が根本なのです。
- 今日までの農業者は土を蔑視し、肥料をもって作物の食糧とさえ思ったほどであるから、驚くべき錯誤であった。
- 私と雖も去年より今年、今月より来月というように、飽く迄進歩向上心の弛まないよう努めている。
- 人間は食物を味わいつつ楽しむ事によって自然栄養となり健康の要素となる。
- すなわち物を観た一瞬、直感した印象こそ物そのものの実体を把握して誤りがない。
- 今日迄の農法は肝腎な土を軽視し、補助的である肥料を重視した。
- 人間の健康及び不健康とは如何なる原因に因るかという点、それは血液の純不純に因るのである。即ち健康とは浄血の持主であり不健康とは濁血の持主である。
- 自然農法の根本は、土そのものを生かす事である。
- 自分にとらわれてはいけないんだってことを知ってれば、目先がきき腹が大きくなるんです。

「岡田茂吉全集」より

読書のすすめ

農・食・健康に関するものなど、
おすすめの書籍をご紹介します。

おいしいものは体にいい

2万サンプル以上の野菜を分析してわかったこと

丹羽 真清 エフビー 1,620 円 (税込)

健康につながる食。形や色つや、大きさといった外見ではなく中身、その野菜がもっているチカラに注目し、膨大な分析データや実食評価から、機能性が高い（抗酸化力や免疫力、解毒力が高い）野菜はおいしいことを明らかにしています。野菜の食品流通や外食産業、農業に関わる方にお薦めの一冊です。



発想の転換で元気に長生き 健康自立力

田中 佳 メタモル出版 1,728 円 (税込)

今こそ病気に対する意識改革を！正しい知識を身につけ、おいしく、楽しく食べよう。病院や薬に頼らずに生きること、病気にならない身体をつくること。そのために必要なのが健康自立力。人生をまっとうするために必要不可欠な健康管理を自己責任で行うための極意を、わかりやすく解説した一冊です。

